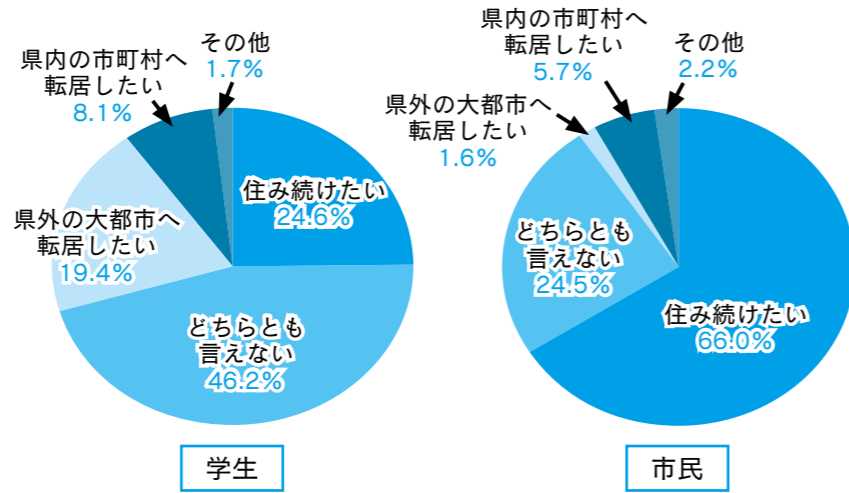


定住意向

市民では、「今後も滑川市に住み続けたい」が66.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が24.5%となっています。

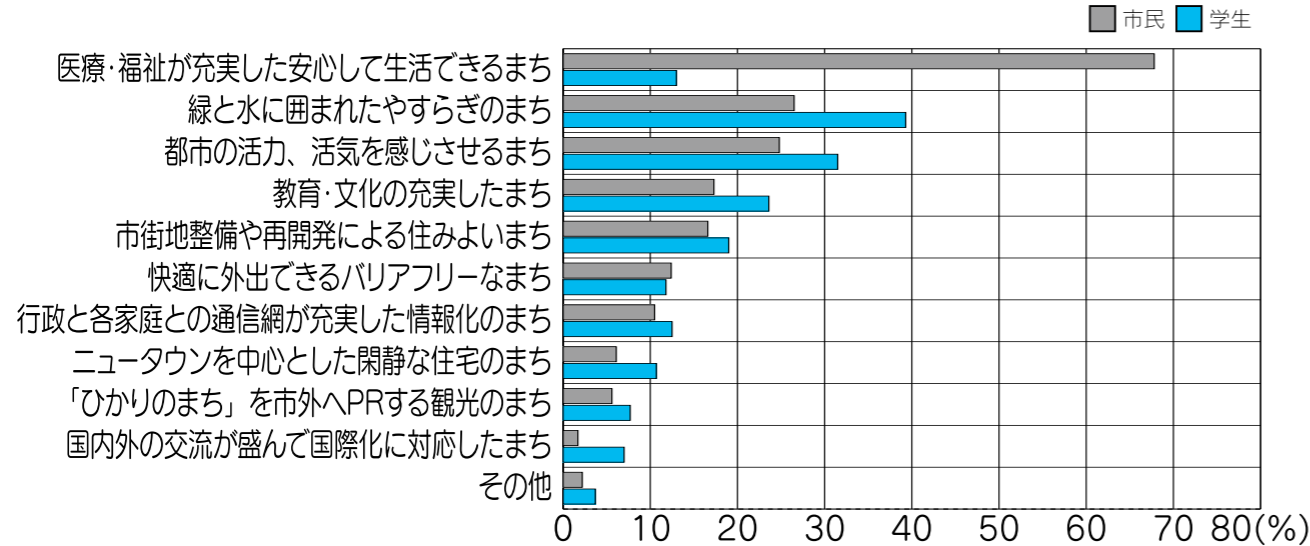
学生では、「どちらともいえない」が46.2%と最も多く、「県外の大都市へ転居したい」が19.4%で第3位となっています。



滑川市の将来像（複数回答）

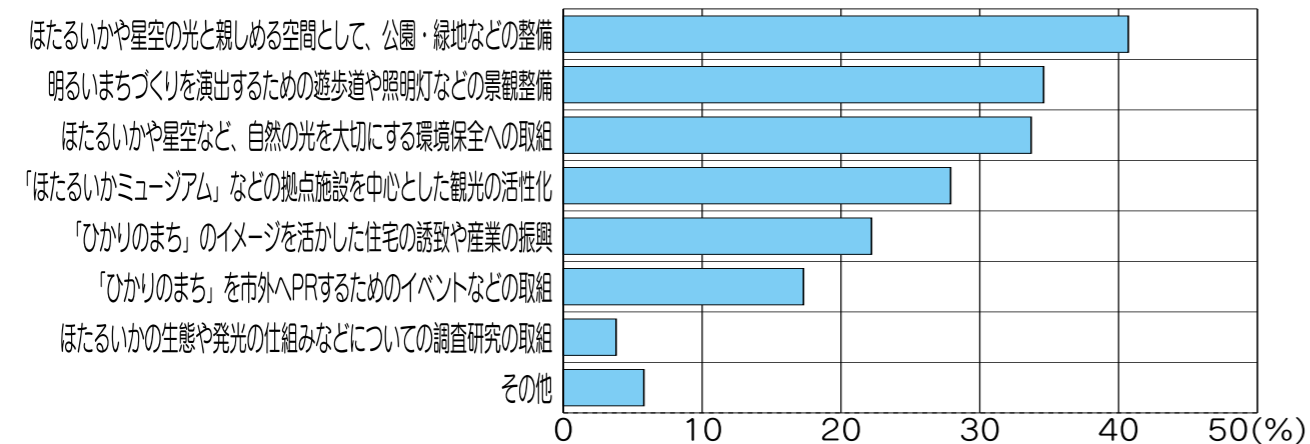
市民では、「医療・福祉が充実した安心して生活できるまち」が67.8%と最も多く、次いで「緑と水に囲まれたやすらぎのまち」が26.5%となっています。

学生では、「緑と水に囲まれたやすらぎのまち」が39.3%と最も多く、次いで「都市の活力、活気を感じさせるまち」が31.5%となっています。



ひかりのまちづくり（市民）

ひかりのまちづくりは、「ほたるいかや星空の光と親しめる空間として、公園・緑地などの整備」が40.7%と最も多く、次いで「明るいまちづくりを演出するための遊歩道や照明灯などの景観整備」が34.6%、「ほたるいかや星空など、光を大切に環境保全への取組」が33.7%となっています。



新しい総合計画策定に向けて 市民アンケートの調査概要

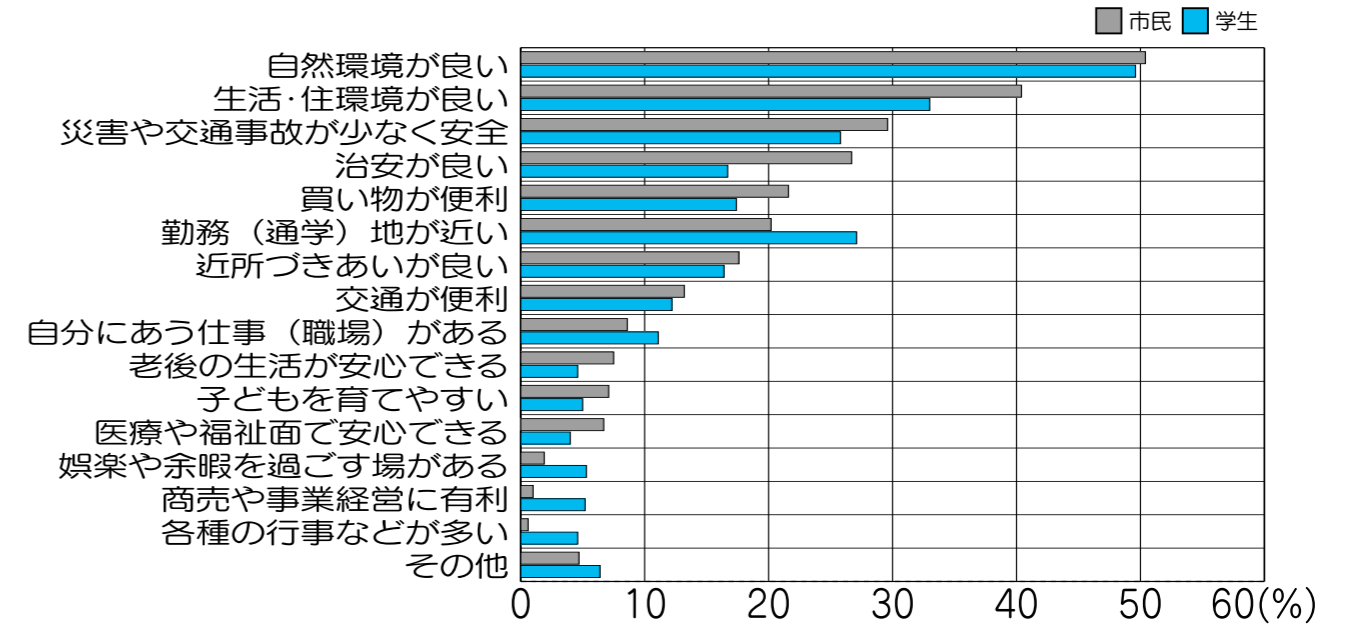
新しい総合計画の策定にあたり市民の皆さんのご意見をできるだけ多く反映するため、平成21年6月に市内の20歳以上の3,000人と中学生、高校生、専門学校生946人を対象にアンケートを実施しました。

ご協力いただいた結果がまとまりましたので、その概要についてお知らせします。

市民アンケートは、1,199人から回答（約40%の回答率）があり、学生アンケートは、911人から回答（約96%の回答率）がありました。

住みやすさと住みにくさ（複数回答）

「住みやすさ」では、市民と学生ともに「自然環境が良い」が約半数で1位、次いで「生活・住環境が良い」が2位、「災害や交通事故が少なく安全」が3位となっています。



住みにくさでは、市民と学生ともに「娯楽や余暇を過ごす場が少ない」が約半数で1位ですが、2位については市民は「医療や福祉面が不安」、学生は「買い物が不便」となっています。

